

質問

今後の移動手段の確保は

町長

デマンド交通の活用を



うちだ けいこ 議員
内田 圭子

質問 高齢化の進展

や人口減少が続く奥出雲町において、交通政策がまちづくりの根幹になると考える。

運転免許証返納後の交通確保策として町が行う高齢者運転免許証自主返納支援事業の成果と、今後の促進に向けた課題は。

町長 本年4月から

助成内容を変更し、交通サポート券、シニアカーの購入助成、商工会商品券の三種類から選択制とした。年間50〜60名が申請し、一定の効果があつたが、返納後の高齢者の交通手段の確保が課題である。

質問 デマンド交通

の今後の導入スケジュールは。

町長 令和8年度に

布勢・亀嵩地区で実証運行を開始予定。協議が調い次第順次エリアを拡大していく予定。

質問 デマンド交通

の利用者の声と課題は。

政策企画課長 三沢・

三所地区で本格運行、高尾地区で実証運行

町長 現在のデマ

ンド交通でも、地区内に二カ所の乗降ポイントを設定している。地区内の公共交通はコストや配車効率の課題もあり難しい。

質問 今後は地区内

の生活移動の確保も必要と考える。地区内の生活拠点間をつなぐ「地区内で完結するデマンド交通」を導入してはどうか。

町長 現在のデマ

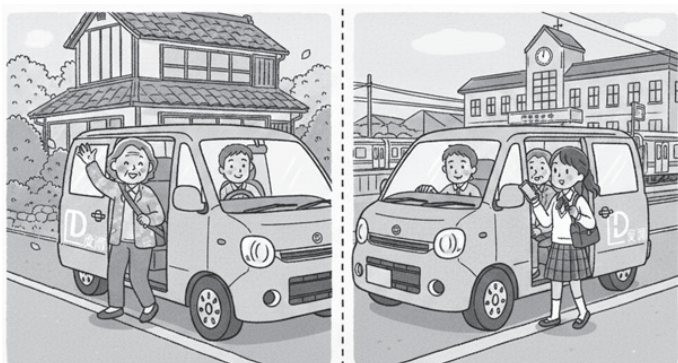
ンド交通でも、地区内に二カ所の乗降ポイントを設定している。地区内の公共交通はコストや配車効率の課題もあり難しい。各地区の実情に応じ、小さな拠点づくりの組織等、共助による助け合いの形が合っていると考えている。

質問 子どもたちが

通学以外の時間帯や夏休み等も利用しやすい公共交通にすることが必要。ダイヤ改善や乗り継ぎの見直しに関する現在の取組と今後の方向性は。

町長 JRには引き

続きをお願いをする。日曜祝日を除く夏休み等は通学以外の時間帯にはデマンド交通を利用してもらえるよう考えている。



今後、地域交通として期待されるデマンド交通（イメージ）



地域をめぐる奥出雲交通のバス